

私立大学戦略的研究基盤形成
支援事業「タンパク質の生成
と管理」第8回セミナー



第15回
生命科学
セミナー

演題: リファンピシン耐性の仕組み

演者: Dipankar Chatterji 博士

Indian Institute of Science (IIS), Bangalore, India

要旨: 再び猛威をふるい始めている結核の第一選択薬であるリファンピシンは50年の歴史を持ち、細菌 RNA polymerase の β サブユニットに直接結合して阻害する。しかし、多くの耐性菌が出現し治療は困難になりつつある。耐性菌はすべて β サブユニットに変異をもつので、リファンピシン結合の steric 効果と単純化されており、 σ サブユニット依存性等それでは説明できない現象は無視されてきた。我々は、リファンピシン耐性に関わると思われる MsRbpA を結核菌近縁株(M. smegmatis)から発見した。MsRbpA の作用機構の研究を通して、結核菌の薬剤耐性機構の深みを紹介したい。

日時: 2012年3月2日(金)

午後4時～5時

場所: 15号館1階 15102セミナー室

世話人: 生命システム学科

嶋本伸雄 (075-705-3078)

共催: 京都産業大学総合生命科学部

私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「タンパク質の生成と管理」